

## 協働事業プロセス相互検証シート

### 1 事業計画段階

#### 【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・年度の振り返りの時期に課題を共有し、次年度の計画策定に役立てることができている。
- ・お互いの役割について確認しながら計画立案できている。
- ・商業施設での出張とところ再開について、「地域deとところ」に転換していく中で、区と拠点とで認識のズレがあったが、協議の中で解決した。

#### 【今後改善が必要と思われること】

- ・計画立案の際、時間的なことも含め、どうしても目先の役割を優先しがちだが、ニーズ調査や実態調査を読み込み、広い視野での計画立案が望まれる。

### 2 事業実施段階

#### 【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・半期ごと振り返りを行っており、上期の課題については下期の計画を調整するなど、適宜対応している。
- ・毎月の定例会を活用しながら必要事項を共有している。事業の実績報告のほか、事業計画を推進する上での課題については区と拠点で相談しながら進めている。
- ・定例会を待たずとも、日々の関係性から何か相談したい際には日常的に連絡をとりながら事業を実施できている。

#### 【今後改善が必要と思われること】

- ・参加者の満足度は高いが、認知度が低いイベント・事業やボランティア活動について、区民への発信や働きかけの方法を検討し、より区民の参加を促す。
- ・子育てサポートシステムの提供会員など子育て支援のサポーター数の維持、増加を図っていく必要がある。

### 3 事業の振り返り段階

#### 【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・中間評価に向けた振り返りを行う中で、お互いの実施内容について再認識できた。当たり前と思っていたことが、評価の対象になっていることもあり、気づきにつながった。
- ・協働により、地域の関係者や団体とのつながりが強化され、拠点としての機能の理解と信頼を得られている。

#### 【今後改善が必要と思われること】

- ・事業の経年評価を区民の利用状況やアンケート結果から分析を行い、区の把握しているデータと照らし合わせて子育てニーズの傾向を探りながら、事業を展開していく必要がある。
- ・地域子育て支援拠点のサテライト機能として「地域deとところ」で対応可能なサービスを増やしていく必要がある。